2015年11月28日　「チーム神於山」活動報告

2015.12.03
シャープ社友会
社会貢献活動委員会

1．活動日時：2015年11月28日（土）　10：00 ～ 12：00
2．参 加 者：８名 （社友ＧＳ ５名・現役ＧＳ２名：金井さんご夫婦）
3．活動内容

- 今回は、巣箱の内・外に仕掛けたカメラによるフクロウの営巣確認をメインに活動しましたが、残念ながらいずれのカメラでも、フクロウの営巣は確認できませんでした。
- ネットの情報では、フクロウが巣に近づき始めるのは 12 月～1 月のようですから、今から一喜一憂することは無さそうですが、横穴／竪穴のどちらの巣に営巣するかを含め、しばらくは気を揉む時期が続きそうです。
- 当日の夜は神於山の新メンバー歓迎を兼ねた忘年会を開催する予定でしたので、活動は午前中で終了。
- 今年のチーム神於山の活動は実質今回で終了することから、昼食は、締めの意味で金井さんご夫妻の協力を得てトン汁をしました。
- 金井さんの奥さんの味付けは抜群で、鍋一杯のトン汁を完食。全員 ほっこりして解散しました。

4．今後の観察

- 昨年営巣した巣箱にセットしたウェッブカメラのコードに、噛み傷が付いていました。
- おそらく通りかかった動物が、コードを見つけて“これは何だ？”と、かじったのだと思いますが、どのような動物が徘徊しているか興味があるので、12 月の前半は、トレイルカメラの一台を夜間の動物観察用にしてはどうかという意見が出ました。
- 神於山の生物の多様性を画像で残すのも大切ですから、近日仕掛けなおす予定です。

■トレイルカメラの再設置　　残念ながら営巣は確認できませんでしたので、カメラを再設置しました。

- カメラの再設置で一番神経を使うのが、カメラが正しく巣箱をとらえているかどうかですが、カメラ側からはなかなか方向がつかめません。
- そこで、巣箱の下に立った者と掛け合いでカメラの位置を調整します。
- 今回もばっちり決まりました。

- コードが少し長めに垂れ下がっていたためか、何かがコネクターとコードをかじっていました。
- アライグマかタヌキではないかと思いますがはっきりしません。

何かにかじられた USB のコネクター部分

■活動頂いた８名のGSの皆さん。　いつもとは趣を変えてエノキの下での一枚。

- 寒い時の暖かいトン汁は、絶品です。
- 金井さんの奥さんの味付けは抜群で、見事に完食しました。改めて感謝です。

■今年の秋は遅いようです。　今年は暖冬とか。その影響か、全体に紅葉は遅いように感じます。

記念樹ゾーンはイロハモミジが色づき始めたところ。

沢筋のモミジも、紅葉はまだこれからです。

クリの枝（左）とヒノキの枝（右）が大接近。

- 記念樹ゾーンのクリの木と、元々生えていたヒノキの枝が触れあい始めていることに気が付きました。
- “どちらを生かすかと言えば、当然植樹したクリでしょう。”と言う訳で、次回以降に右のヒノキの枝を伐ろうということになりました。
- ヒノキの枝が結構高いところから伸びているので、枝を切り払うことが難しい場合は、将来のことも考えて、ヒノキの本体を伐採することも考えないといけません。
- その場合、対象になるヒノキは、結構太く、また背も高いことから、久しぶりにチェーンソーが出番の大仕事になりそうです。

以上